

Profile

管弦楽 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

四国初のプロオーケストラとして定期演奏会をはじめ自治体、企業などへの出張演奏や県内外の文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開している。特に、小・中学校を訪問しての音楽教室では音楽の楽しさを体感できる企画を盛り込み、音楽人口の拡大に取り組んでいる。

NPO法人として2001年(平成13)11月に設立。2009年(平成21)4月一般社団法人。2010年(平成22)1月公益社団法人に移行。2014年(平成26)10月香川県文化芸術選奨受賞。2016年(平成28)6月(公社)日本オーケストラ連盟に準会員として加盟。団員約60人



指揮 松岡 究

成城大学卒業。指揮を小林研一郎、ヨルマ・パヌラ、ランベルト・ガルデッリに師事。

1991年文化庁在外研修員としてハンガリーに留学。2004年よりローム財団の音楽特別在外研修生として3年間ベルリンにて研修。1993年より1996年まで新神戸オリエンタル劇場にて常任指揮者としてオペラ・コンサートをプログラミング・指揮。また1987年より2008年まで22年間東京オペラプロデュース指揮者を務め、その間に10作品以上のオペラの日本初演を指揮し、「極めてバランス感覚に富んだ逸材」「隠れたところに逸材ありき」などいづれも高く評価された。オペラのレパートリーは30作品を超え、また合唱・オラトリオ作品(ミサ・レクイエム等)にも造詣が深くその指揮は高く評価されている。2009年より2012年まで日本オペレッタ協会音楽監督兼常任指揮者、また2009年より東京ユニバーサルフィル専任指揮者、2012年9月より常任指揮者に就任した。



ヴァイオリン 佐藤まどか

東京藝術大学附属音楽高校、同大学、同大学院博士後期課程修了。この間イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、2005年シベリウスの研究で博士号(音楽)を取得。シベリウスのスペシャリストとして内外での注目を集めた。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位をはじめとして、プラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞、ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール第2位(最高位)入賞、ロドルフォ・リピツァー国際ヴァイオリンコンクール第4位(1位なし)入賞。北海道文化奨励賞受賞。ウィーン・コンチェルトハウス、フィンランド・オウルンサロ音楽祭やシベリウス・イ・コルボ音楽祭への出演など欧米でも活躍。2007年にはフィンランド、イギリスへのツアーのほか、シベリウス没後50周年記念コンサート「シベリウスの真実」をプロデュースし、世界初演を含む意欲的な演奏活動を展開。ALMレコードからシベリウスのヴァイオリン作品集vol.1「子守唄」、vol.2「ノウェレット」が、スウェーデンのBISのシベリウス全集第6巻に世界初録音がワールドリリースされ、ともに高い評価を受ける。現在、ソリストとしての活動を中心として、国内外において室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を行っている。上野学園大学准教授。contemporary αメンバー。日本シベリウス協会理事。

